東証プライム：8359

2026年度 中間決算ハイライト

2026年11月6日

八十二長野銀行
HNBK

● **経常利益**
八十二長野銀行単体の資金利益および株式等関係損益が増加したこと等により、前年同期比＋184億円となりました。

● **親会社株主に帰属する中間純利益**
経常利益の増益に伴い、前年同期比＋103億円となりました。

◆　連結　（億円）	2025/9	2026/9	前期比
連結粗利益	**724**	**694**	**▲30**
資金利益	586	669	82
役務取引等利益	112	107	▲5
特定取引利益	2	3	0
その他業務利益	23	▲85	▲108
営業経費	360	351	▲9
与信関係費用	5	17	12
株式等関係損益	85	272	186
金銭の信託運用損益	▲1	2	4
経常利益	**419**	**604**	**184**
特別損益	▲0	▲3	▲3
親会社株主に帰属する中間純利益	**297**	**400**	**103**

親会社株主に帰属する
経常利益　および　中間純利益

過去最高益

<中間決算>

経常利益
これまでの最高益
419億円（2025年度中間）

親会社株主に帰属する
中間純利益
これまでの最高益
297億円（2025年度中間）

◆ 単体　（億円）

	八十二銀行 2025/9	2026/9	前期比
業務粗利益（A）	**626**	**632**	**5**
資金利益	550	669	118
役務取引等利益	74	71	▲3
その他業務利益	▲0	▲111	▲110
国債等債券損益（B）	▲7	▲122	▲115
経費（C）	304	349	45
実質業務純益（A-C）	**322**	**282**	**▲39**
コア業務純益（A-B-C）	**329**	**405**	**75**
除く 投資信託解約損益	321	396	75
一般貸倒引当金繰入額（D）	15	13	▲1
業務純益（A-C-D）	307	269	▲37
臨時損益 株式等損益（E）	84	271	186
臨時損益 金銭の信託運用損益（F）	▲1	2	4
臨時損益 不良債権処理額	▲9	4	13
臨時損益 その他の臨時損益	▲23	2	26
経常利益	**390**	**572**	**181**
特別損益	0	▲1	▲1
中間純利益	**278**	**381**	**103**
有価証券関係損益（B+E+F）	75	151	76
与信関係費用	5	17	12

● 資金利益

国内業務部門の貸出金利息および有価証券利息配当金の増加により前年同期比＋118億円となりました。

2026年3月期より投資事業組合会計処理を変更しております。
約27億円の減収要因となりましたが、臨時費用も同額減少するため、経常利益には影響ありません。

● コア業務純益

経費は増加したものの、資金利益の増加により、前年同期比＋75億円となりました。

経常利益　および　中間純利益

過去最高益

● 経常利益

コア業務純益の増加、株式等売却益の増加を主因として前年同期比181億円と増加し、572億円となりました。

これまでの最高益
390億円（2025年度中間）

● 中間純利益

前年同期比103億円増加し、381億円となりました。

これまでの最高益
278億円（2025年度中間）

- 国内業務部門は、利回り改善による貸出金利息および有価証券利息配当金の増加を主因として前年同期比+127億円となりました。
- 国際業務部門は、有価証券利息配当金の減少などから前年同期比▲8億円となりました。

2025年度（2026年3月期）から投資事業組合会計処理を変更しております。
資金利益（有価証券利息配当金）約27億円の減少要因となりました。

◆ 資金利益（億円）

	<八十二>				<２行合算>		
	2025/3 通期	2025/9	2026/3 通期	2026/9	2025/3 八十二+長野	2025/9 八十二+長野	2026/3 八十二長野+長野※
資金利益 <前年同期比／会計処理考慮後>	**958**	**550**	**1,114** <+156／+212>	**669** <+118／+146>	**1,043**	**584**	**1,166**
国内業務部門	**836**	**475**	**978**	**602**	**921**	**509**	**1,030**
資金運用収益	930	586	1,230	791	1,021	627	1,293
貸出金利息	472	301	657	436	540	333	704
有価証券利息配当金	365	197	386	243	384	202	394
資金調達費用（▲）	94	111	253	189	100	118	264
預金利息（▲） ※NCD含む	50	77	179	155	55	84	190
国際業務部門	**121**	**74**	**136**	**66**	**121**	**74**	**136**
資金運用収益	472	223	432	206	472	223	432
貸出金利息	188	83	168	86	188	83	168
有価証券利息配当金	270	136	259	118	270	136	259
資金調達費用（▲）	350	148	296	140	350	148	296
預金利息（▲）	41	15	26	8	41	15	26

※ 変則決算：2025年12月期

参考：国内業務部門　資金利益の推移

※ 譲渡性預金含む

2025年度（2026年3月期）から投資事業組合会計処理を変更しております。
資金利益（有価証券利息配当金）約27億円の減少要因となりました。

<億円>	2023年度		2024年度		2025年度		2026年度
	1Q～2Q	3Q～4Q	1Q～2Q	3Q～4Q	1Q～2Q	3Q～4Q	1Q～2Q
国内資金利益	**342**	**369**	**396**	**440**	**475**	**503**	**602**
国内預貸金利息　（A-B）	200	203	207	214	223	254	280
国内貸出金利息　（A）	201	204	218	253	301	356	436
国内預金等利息　（B）	0	0	10	39	77	101	155
国内有価証券利息配当金	135	169	171	194	197	188	243
国内預貸金利回り差　（C-D）	0.677%	0.684%	0.731%	0.783%	0.876%	0.942%	1.027%
国内貸出金利回り　（C）	0.678%	0.686%	0.756%	0.875%	1.051%	1.163%	1.349%
国内預金等利回り　（D）	0.001%	0.002%	0.025%	0.092%	0.175%	0.221%	0.322%
国内有価証券利回り	1.336%	1.578%	1.481%	1.663%	1.704%	1.610%	2.042%
国内貸出金平残	59,157	59,372	57,556	58,168	57,182	61,418	64,464
国内預金等平残	82,713	82,825	85,344	86,059	88,561	92,219	96,302
国内有価証券平残	20,221	21,439	23,021	23,461	23,143	23,517	23,744

｜ご参考｜

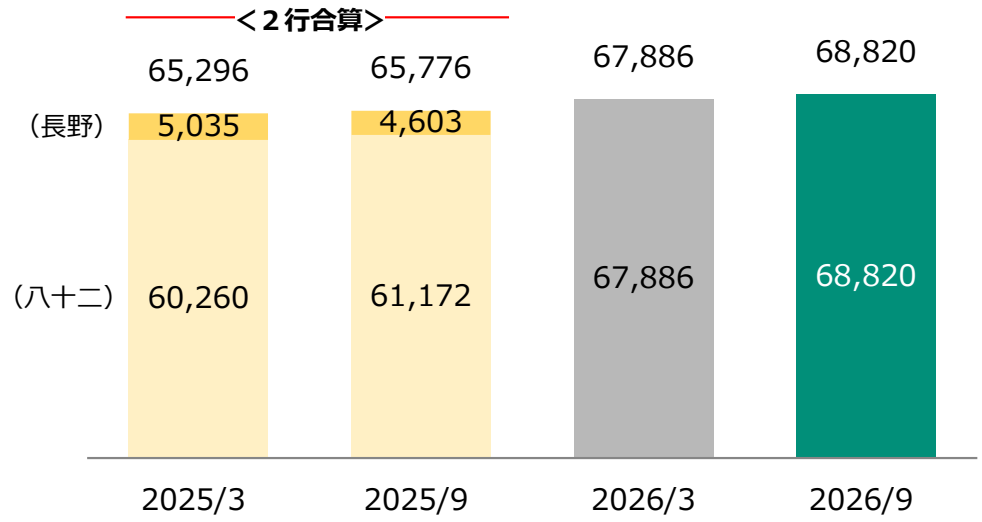
政策金利の動き

2024年　3月　マイナス金利解除
2024年　7月　（０．２５%）程度へ引上げ
2025年　1月　（０．５０%）程度へ引上げ
2025年12月　（０．７５%）程度へ引上げ
2026年　6月　（１．００%）程度へ引上げ
2026年　9月　（１．２５%）程度へ引上げ

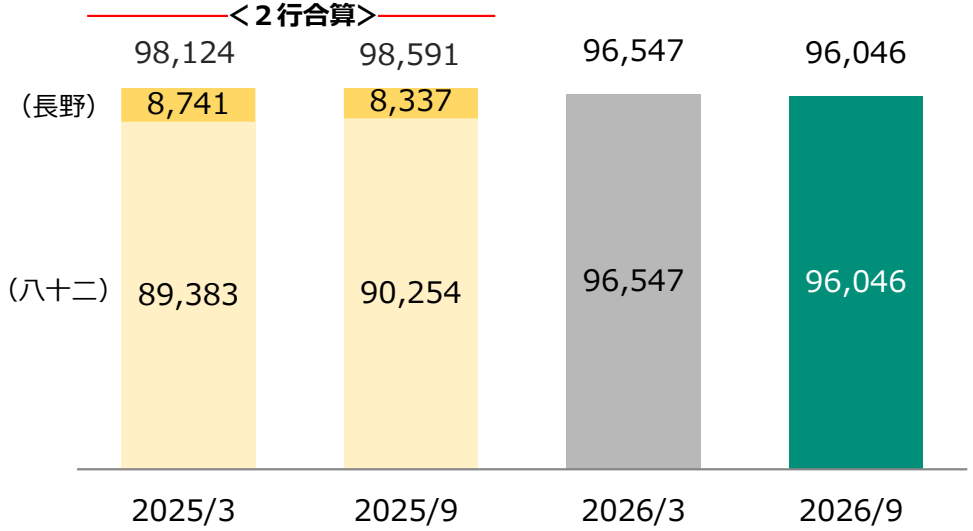
貸出金・預金

- 貸出金は、旺盛な資金需要を取り込み堅調に推移しました。
- 預金は、公金預金の減少を主因として、2026年9月末残高は前期末比で減少しました。

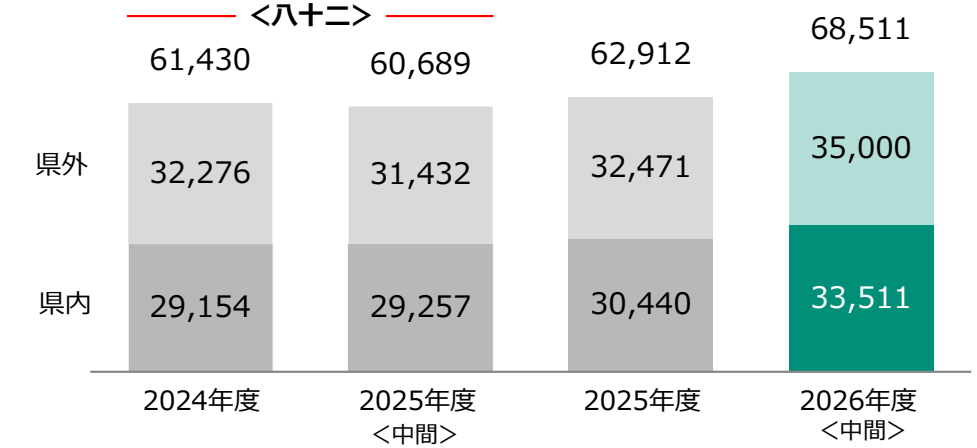
◆ 貸出金（末残）　（単位：億円）



◆ 預金（末残）　（単位：億円）　※ 譲渡性預金含む



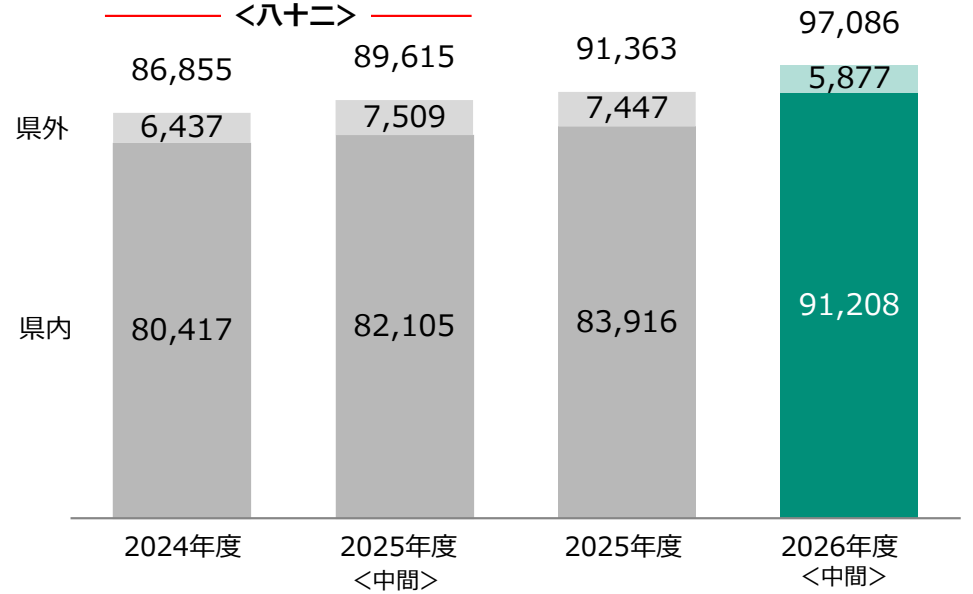
◆ 貸出金（平均残高）　（単位：億円）



|ご参考|

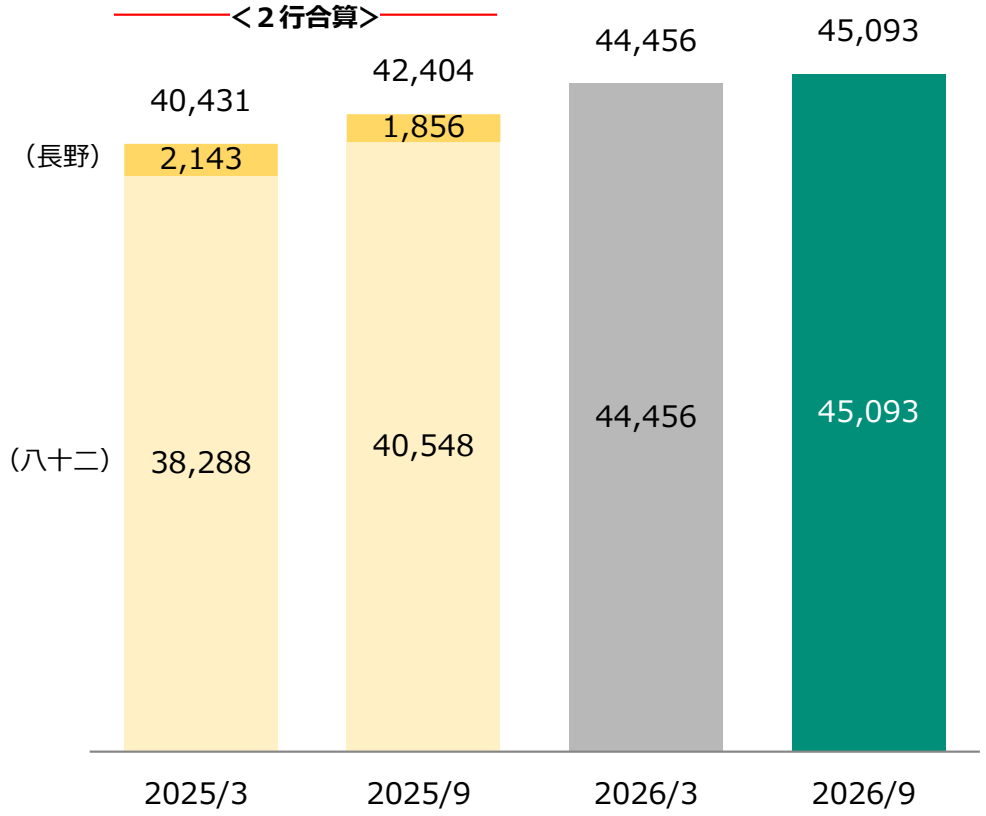
中央政府向け貸出金 <平残>（億円）	<中間> 2024年度	2025年度	<中間> 2025年度	2026年度
	2,835	361	231	96

◆ 預金（平均残高）　（単位：億円）　※ 譲渡性預金含む

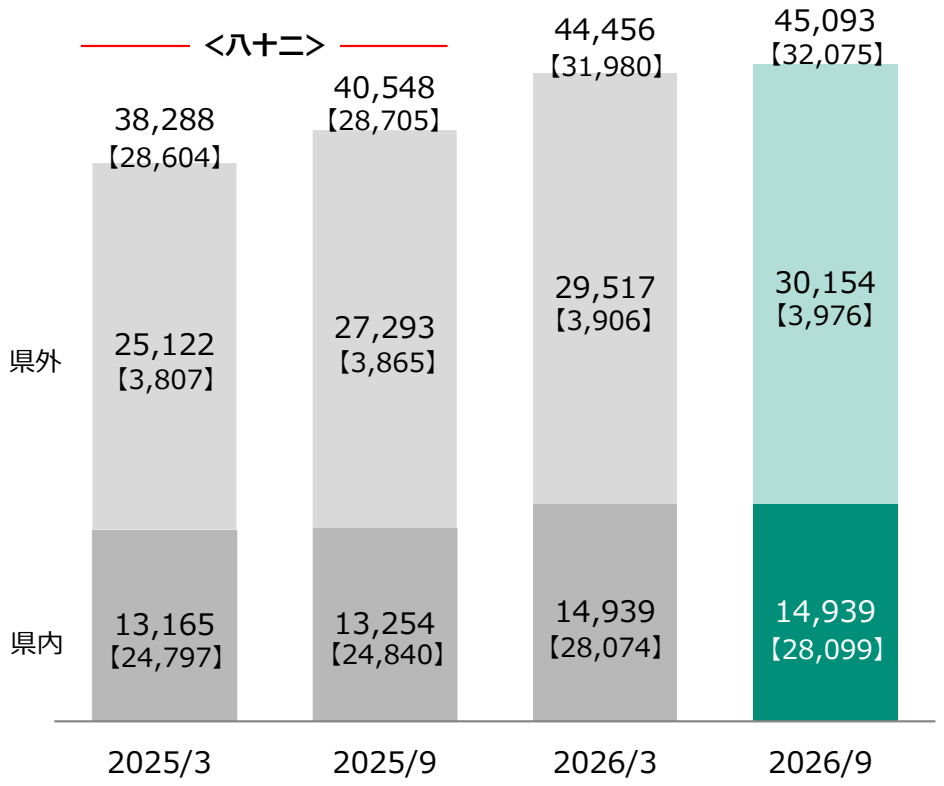


● 県外を中心とした設備資金・運転資金の需要を取り込み、貸出金残高・融資先数ともに増加しました。

◆ 法人向け貸出金残高（末残）　（単位：億円）



◆ 法人向け貸出金（地域別）　（単位：億円）
【 法人融資先数　（単位：先）】



|ご参考| 不動産業・物品賃貸業向け貸出金残高（末残）　（単位：億円）

	2025/3	2025/9	2026/3	2026/9
残高	8,332	8,821	9,528	9,703
構成比（国内貸出金業種別）	13.9%	14.5%	14.1%	14.2%

|ご参考|　中小企業向け貸出金残高（末残）　（単位：億円）

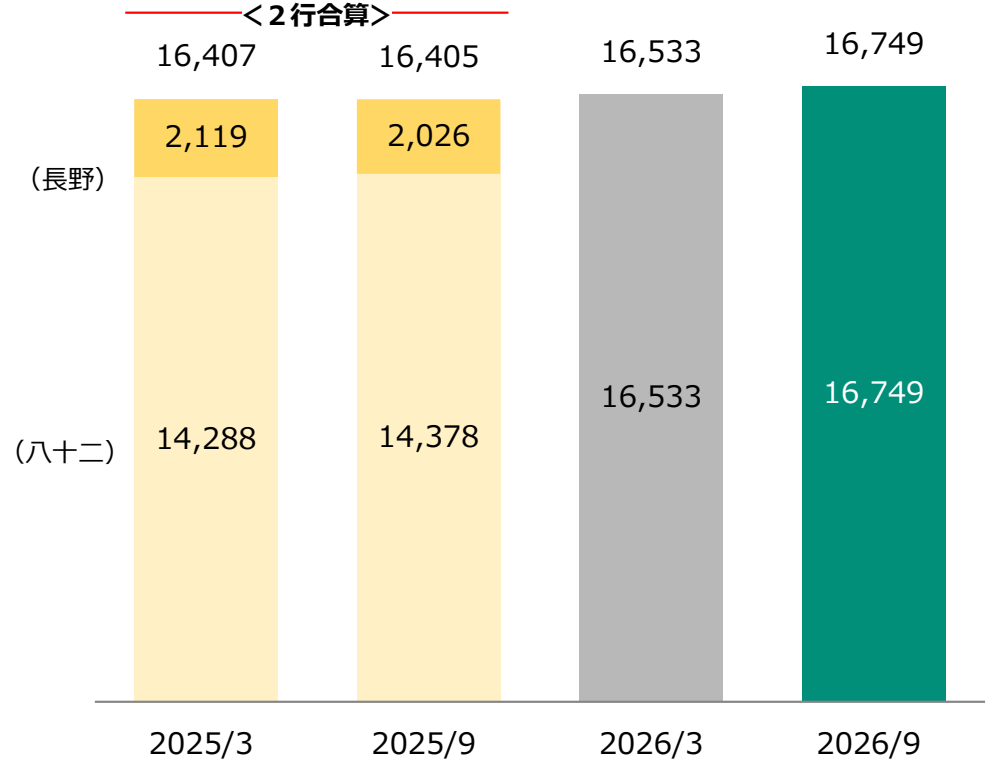
	2025/3	2025/9	2026/3	2026/9
残高	18,302	19,026	21,422	21,499
法人向け貸出金に占める割合	47.8%	46.9%	48.1%	47.6%

※　中小企業（地方公共団体・公社を除く）＋個人事業主

● 競争力を高めるための商品性見直しが奏功し、個人向け貸出金は過去最高を更新しました。

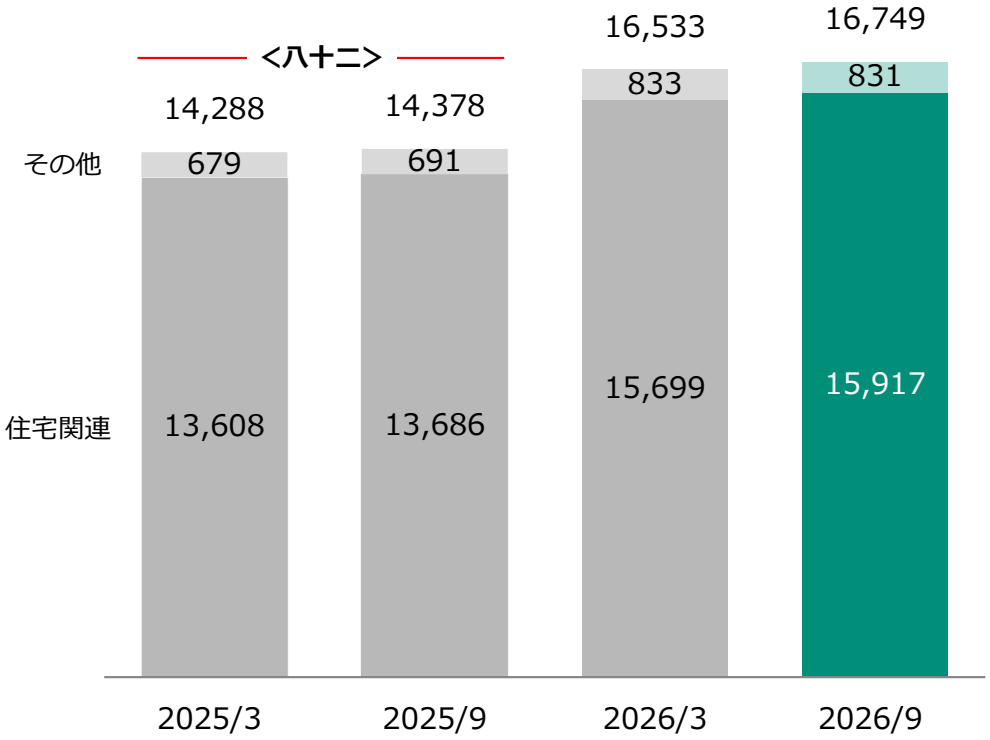
◆ 個人向け貸出金残高（末残）

（単位：億円）



◆ 個人向け貸出金（使途別）

（単位：億円）



|ご参考| 住宅ローン新規実行額 （単位：億円）

	通期 2025/3	2025/9	通期 2026/3	2026/9
新規実行額	**1,137**	**505**	**1,148**	**720**
変動金利	1,119	488	1,117	715
（構成比）	(98.4%)	(96.6%)	(97.2%)	(99.3%)
10年固定	9	12	19	2
（構成比）	(0.7%)	(2.3%)	(1.6%)	(0.2%)

|ご参考| 住宅ローン適用金利内訳（末残） （単位：億円）

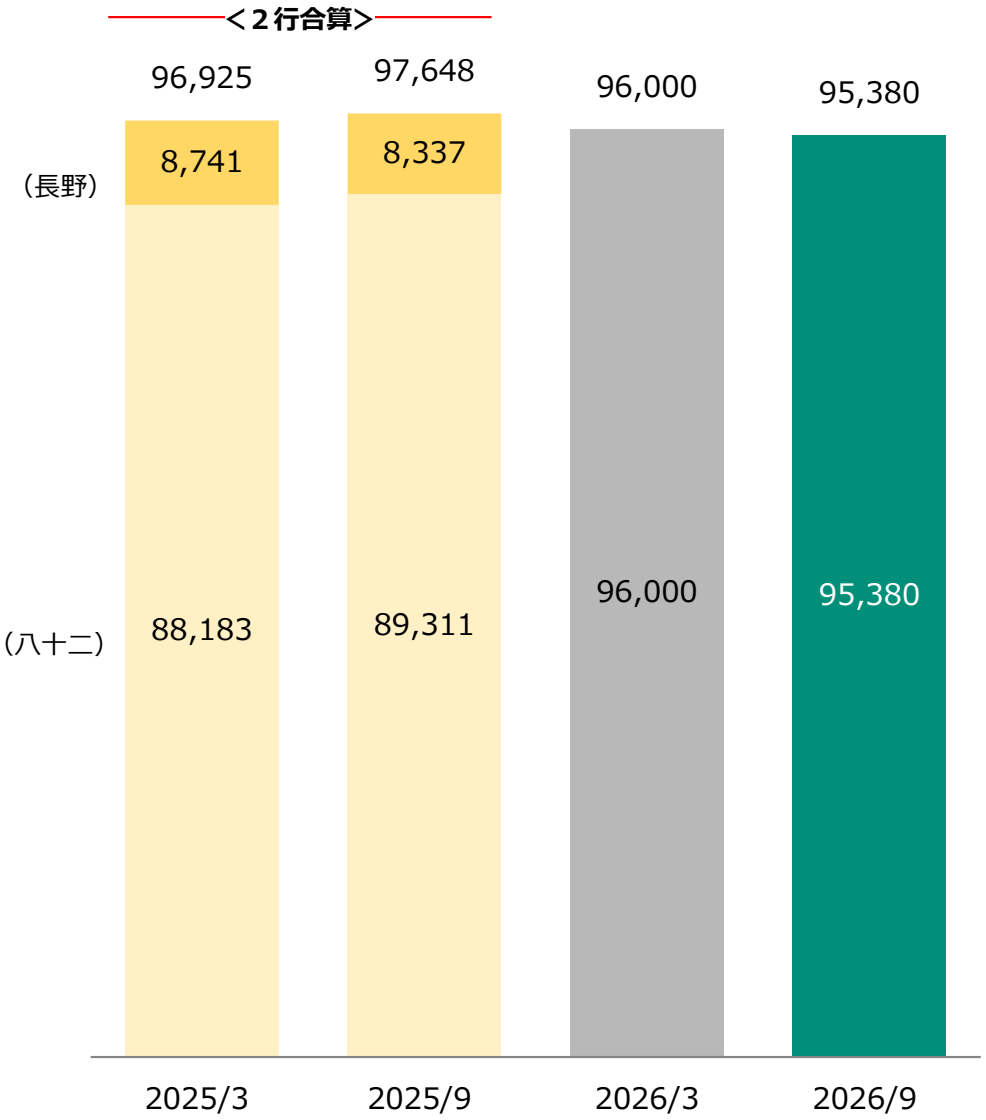
	2025/3	2025/9	2026/3	2026/9
末残	**13,608**	**13,686**	**15,699**	**15,917**
変動金利	8,748	9,108	10,669	11,389
（構成比）	(64.2%)	(66.5%)	(67.9%)	(71.5%)
10年固定	4,211	3,955	3,917	3,502
（構成比）	(30.9%)	(28.8%)	(24.9%)	(22.0%)

円貨預金

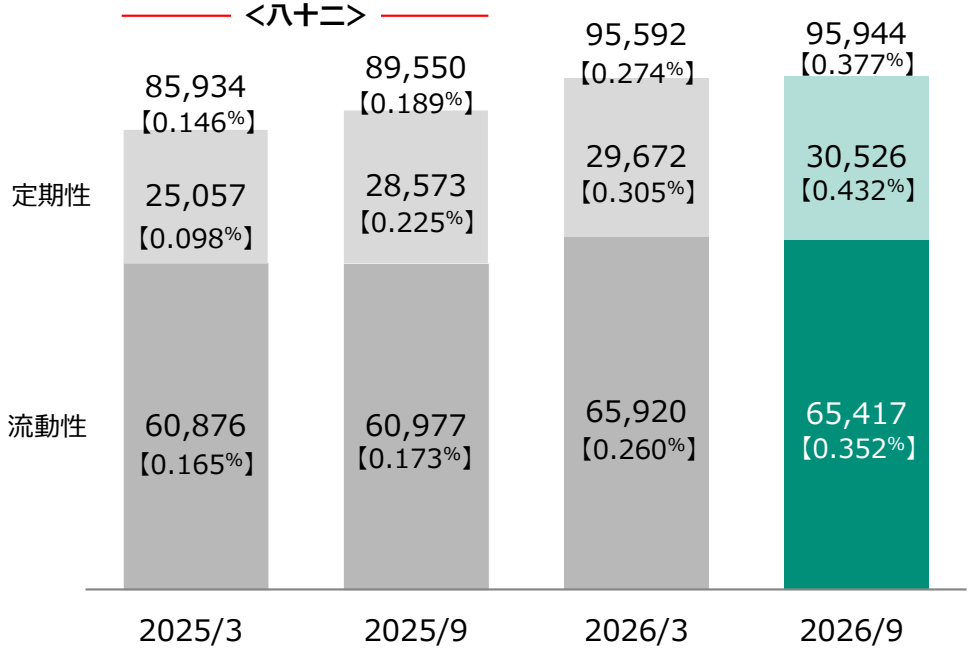
※ 譲渡性預金含む　※ 非居住者円預金は含まず

- 法人預金は、堅調に推移しましたが、公金預金の減少を主因として、2026年9月末残高は前期末比で減少しました。

◆ 円貨預金残高（末残）　（単位：億円）



◆ 月中平均残高　（単位：億円）
【 月中平均金利 】



|ご参考|　属性別構成（月中平均残高）　（単位：億円）

	2025/3	2025/9	2026/3	2026/9
個人	56,723	57,046	63,598	63,504
（構成比）	(66.0%)	(63.7%)	(66.5%)	(66.1%)
法人	22,568	24,251	25,255	25,179
（構成比）	(26.2%)	(27.0%)	(26.4%)	(26.2%)
公金	5,641	7,297	5,737	6,329
（構成比）	(6.5%)	(8.1%)	(6.0%)	(6.5%)

有価証券

- 有価証券関係損益（売買等）は、低利回り債の売却等により国債等債券売却損を計上しましたが、株式等売却益の増加により前年同期比＋76億円となりました。
- 有価証券評価損益は、国内金利の上昇により債券の評価損失が拡大したものの、国内株価が上昇したため、前年同期比＋782億円（NET）となりました。

◆ 有価証券関係損益（売買等）

（単位：億円）

	<八十二> 通期 2025/3	<八十二> 2025/9	<八十二> 通期 2026/3	<八十二> 2026/9	<２行合算> 2025/3	<２行合算> 2025/9	<２行合算> 2026/3 八十二長野＋長野※
株式等損益	295	84	352	271	318	87	355
国債等債券損益	▲119	▲7	▲163	▲122	▲161	▲7	▲163
金銭の信託運用損益	▲2	▲1	▲3	2	▲2	▲1	▲3
計	**173**	**75**	**184**	**151**	**154**	**77**	**187**

※ 変則決算：2025年12月期

◆ 有価証券評価損益

（単位：億円）

	<八十二> 2025/3	<八十二> 2025/9	<八十二> 2026/3	<八十二> 2026/9	<２行合算> 2025/3	<２行合算> 2025/9
株　式	4,671	5,518	6,670	6,591	4,701	5,552
うち政策株式	1,116	1,418	1,608	1,603	1,145	1,419
債　券	▲1,208	▲1,497	▲1,961	▲2,278	▲1,302	▲1,597
その他	▲70	45	36	▲92	▲70	45
計	3,393	4,066	4,745	4,219	3,328	4,000
ヘッジ会計付 金利スワップ評価損益	815	1,085	1,412	1,713	815	1,085
ＮＥＴ	**4,208**	**5,151**	**6,157**	**5,933**	**4,143**	**5,086**

役務取引等利益

- 投資信託関連の手数料が増加しましたが、前年同期の大口シンジケートローン組成に伴う手数料の反動減により、前年同期比▲3億円となりました。

◆ 役務取引等利益（億円）

	<八十二>				<2行合算>		
	2025/3 通期	2025/9	2026/3 通期	2026/9	2025/3 八十二+長野	2025/9 八十二+長野	2026/3 八十二長野+長野※
役務取引等利益	**104**	**74**	**127**	**71**	**103**	**74**	**126**
役務取引等収益	**192**	**113**	**221**	**111**	**204**	**118**	**228**
預金・貸出金業務（シ・ローン関連、M&A・事業承継、ビジネスマッチングなど）	99	65	121	55	104	67	123
為替業務	54	28	57	30	57	30	60
証券関連業務（社債等受託、投信窓販、証券仲介など）	20	9	23	14	20	9	23
代理業務（保険窓販など）	6	3	7	4	8	4	8
クレジット関係業務	6	3	7	3	6	3	7
役務取引等費用	**88**	**39**	**94**	**39**	**101**	**44**	**102**
支払ローン関係手数料	67	27	70	27	78	31	77
為替業務	7	3	6	3	7	3	7

※ 変則決算：2025年12月期

役務取引等利益（法人分野 ／ 個人分野）

◆ 法人分野（主要項目） ※

（億円）

		<八十二> 通期 2025/3	<八十二> 2025/9	<八十二> 通期 2026/3	<八十二> 2026/9
主要項目＜合計＞		**42.3**	**35.3**	**62.2**	**26.2**
	シンジケートローン・私募債 等	16.1	21.3	31.0	9.5
	デリバティブ関連	14.4	5.6	13.5	10.4
	M&A・コンサルティング関連	11.7	8.3	17.6	6.3

※ コンサルティング業務による収益を表示しています。また、その他業務利益など役務取引等利益以外も含んでいます。

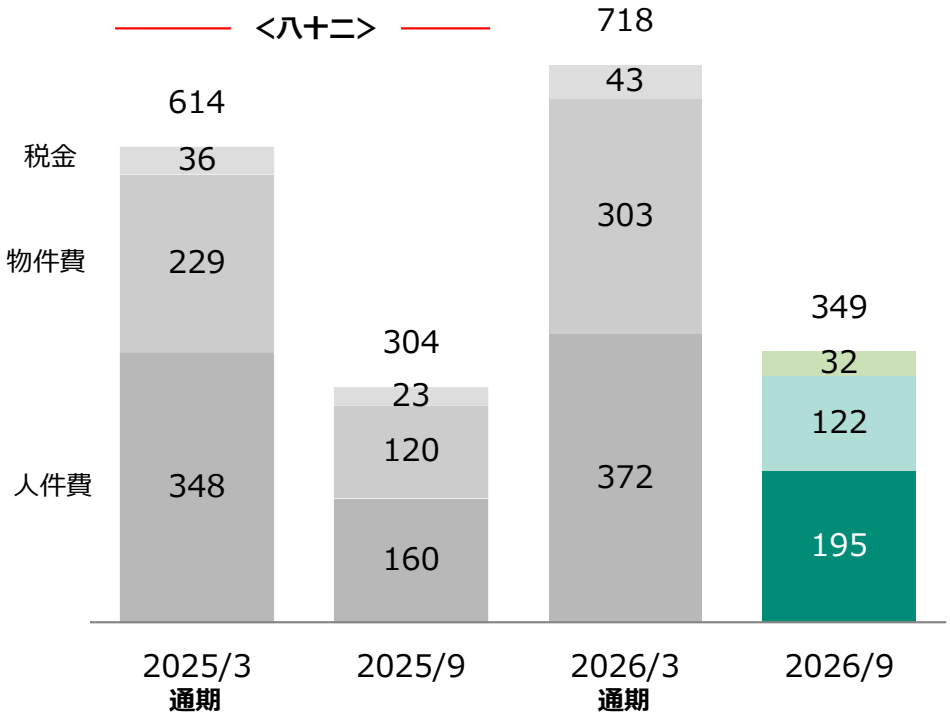
◆ 個人分野 投資型金融商品収益（八十二長野銀行単体＋八十二証券　※当行への仲介手数料控除後）

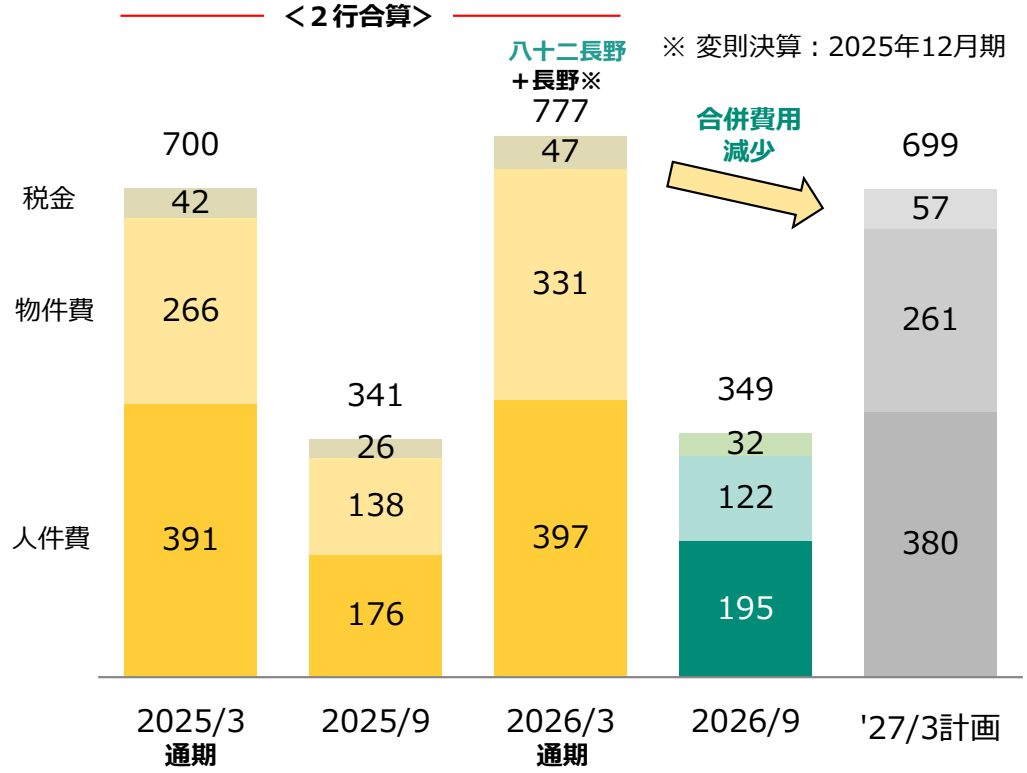
（億円）

		<八十二> 通期 2025/3	<八十二> 2025/9	<八十二> 通期 2026/3	<八十二> 2026/9
八十二長野銀行＋八十二証券		**42.4**	**21.3**	**49.7**	**29.4**
八十二長野銀行		**26.0**	**12.4**	**28.3**	**17.7**
〈主な項目〉	公共債	0.7	0.5	1.1	0.6
	生損保	4.1	2.3	4.9	3.4
	投資信託	16.3	7.6	18.5	11.9
	金融商品仲介・紹介	0.2	0	0	0
	外貨預金	4.5	1.9	3.7	1.7
八十二証券		**16.3**	**8.9**	**21.4**	**11.7**
〈主な項目〉	仕組債	0.2	0	0.2	0.1
	信託報酬	4.4	2.3	4.8	2.8
	投信販売	1.9	0.6	1.7	1.2
	株式	9.7	5.8	14.5	7.4

- 物件費は、賃借料や通信交通費の増加により前年同期比＋2億円となりました。
- 人件費は、合併による人員増加およびベースアップ等により前年同期比＋35億円となりました。

◆ 経費 （単位：億円）





｜増加要因｜ 前年同期比較

●物件費：120億円 ⇒ <2026年9月>122億円

- 土地・建物・機械賃借料（前年同期比＋1億円）
- 通信交通費（前年同期比＋1億円）
- 備品費（前年同期比▲1億円）

●人件費：160億円 ⇒ <2026年9月> 195億円

- 譲渡制限付き株式インセンティブ制度導入による費用（前年同期比＋11億円）

2026年3月期 2行合算 **777億円** 合併費用の減少 2027年3月期 計画 **699億円**

｜投資｜ 前年同期比較

●投資額：19億円 ⇒ <2026年9月> 44億円

- 店頭事務ペーパーレス化（9.9億円）
- 新融資支援システム（2.8億円）
- 新営業支援システム（2.5億円）
- AIデータ基盤（1.9億円）

与信関係費用

- 大口先のランクダウンによる貸倒引当金繰入額の増加により、与信関係費用は17億円となりました。
- 一定数のランクダウンを見込み、与信関係費用60億円（ 当初計画＋10億円）に修正しました。

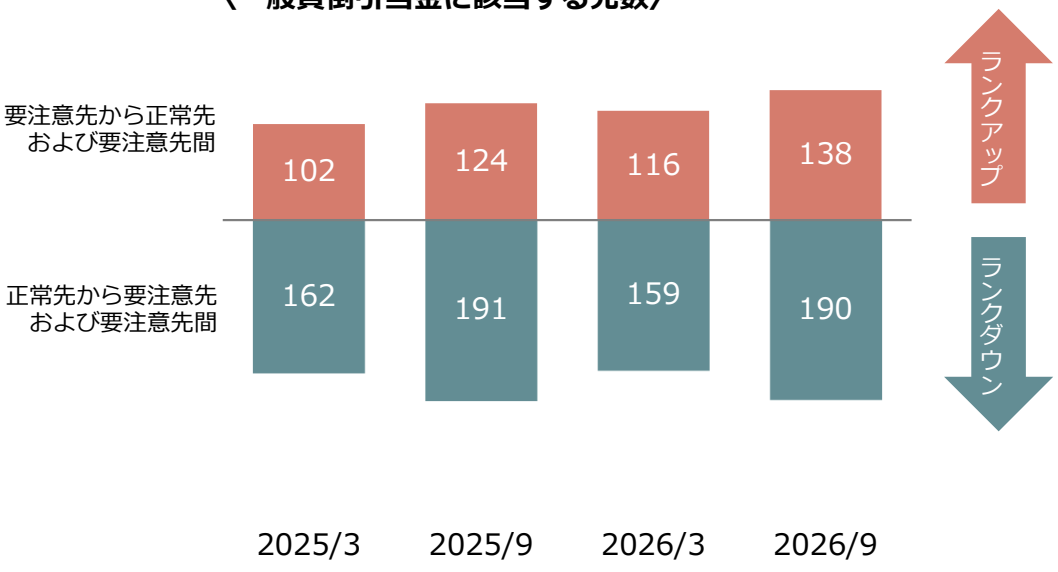
◆ 与信関係費用 （単位：億円）

11月6日修正

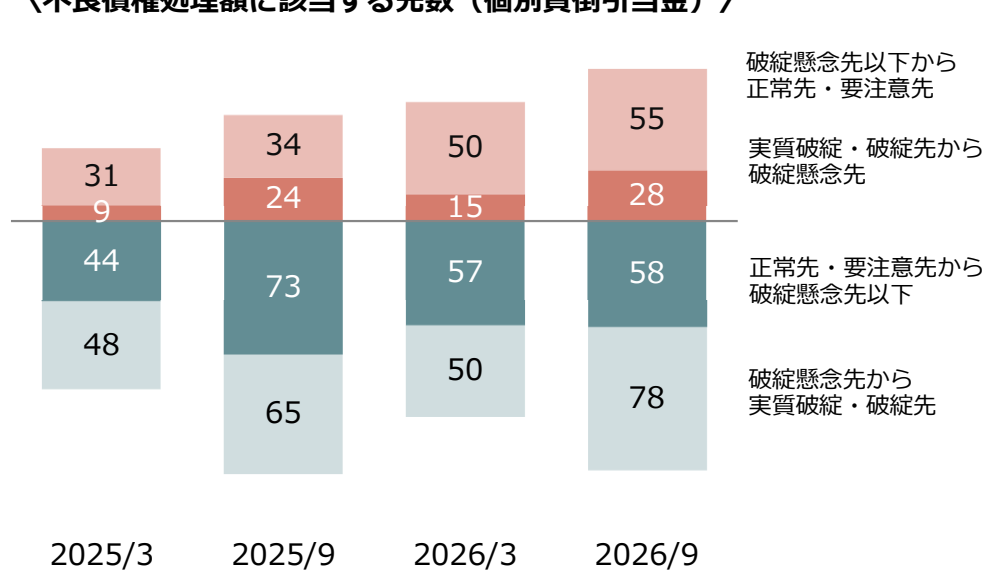
	通期 2025/3	2025/9	通期 2026/3	2026/9	<予想> 2027/3
一般貸倒引当金繰入額	▲5	15	—	13	45
不良債権処理額	22	▲9	5	4	14
貸倒引当金戻入益（▲）	–	—	8	—	—
与信関係費用（合計）	**17**	**5**	**▲3**	**17**	**60**
大口要因（±10億円以上変動先）	–	–	—	14	–

◆ ランクアップ／ダウン先数 （単位：先）

〈一般貸倒引当金に該当する先数〉

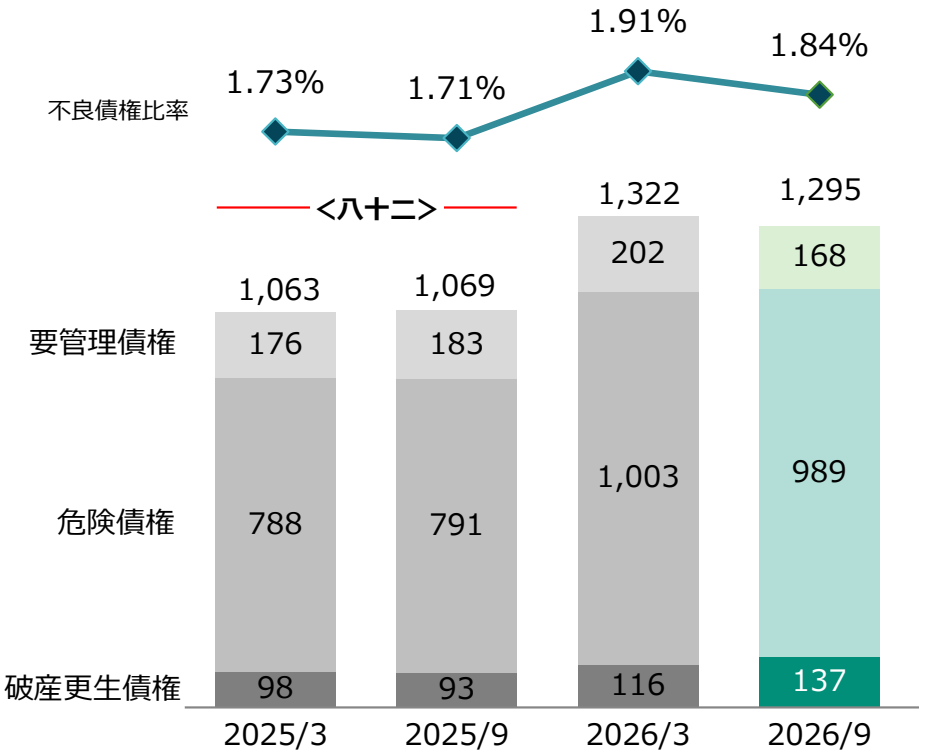


〈不良債権処理額に該当する先数（個別貸倒引当金）〉



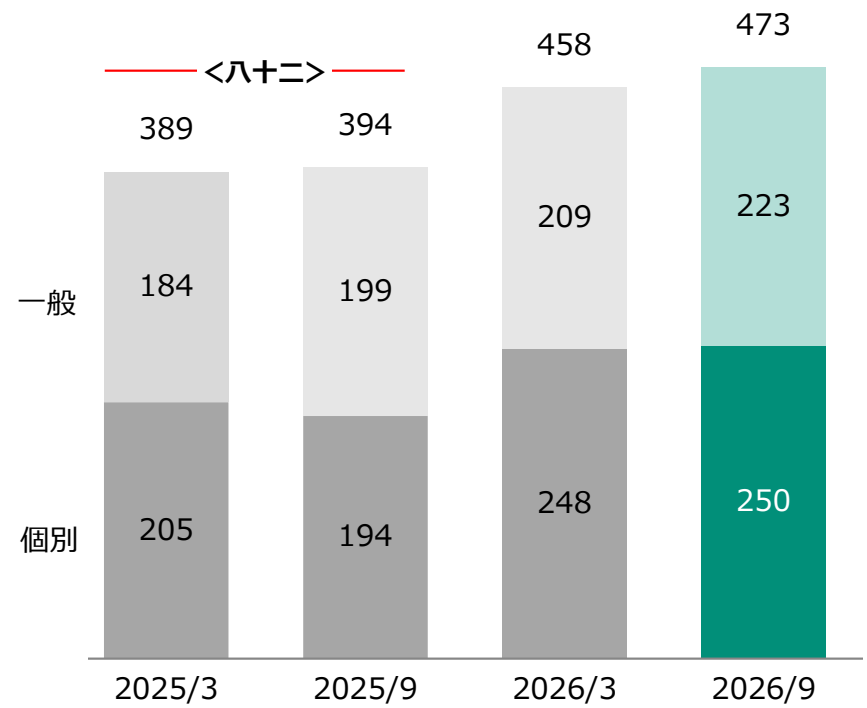
不良債権・貸倒引当金

◆ 不良債権　（単位：億円）



	2025/3	2025/9	2026/3	2026/9
要管理債権	176	183	202	168
危険債権	788	791	1,003	989
破産更生債権	98	93	116	137
合　計	1,063	1,069	1,322	1,295
不良債権比率	1.73%	1.71%	1.91%	1.84%

◆ 貸倒引当金　（単位：億円）



	2025/3	2025/9	2026/3	2026/9
一般貸倒引当金	184	199	209	223
正常先	76	81	87	88
その他要注意先	63	70	75	98
要管理先	43	48	47	36
個別貸倒引当金	205	194	248	250
破綻懸念先	169	162	207	203
実質破綻先・破綻先	36	32	41	47
合　計	389	394	458	473

グループ会社決算の概要

グループ法人名	銀行及びその子会社等の出資比率合計	2025/9 経常利益(百万円)	2025/9 純利益(百万円)	2026/9 経常利益(百万円)	2026/9 純利益(百万円)	特記事項
八十二証券	100.0%	▲38	▲45	69	42	堅調な株式相場の下支えもあり黒字化。
八十二リース	100.0%	468	335	389	268	リース満了に伴う処分売上高の計上により増収となるも、リース原価の増加等により減益。
ながぎんリース 2027年1月　八十二リースと合併予定	100.0%	231	180	172	27	八十二リースへの取引集約にともなう新規案件減少により減益。
八十二カード	100.0%	48	32	103	70	取扱高の増加により、増収増益。
長野カード	100.0%	▲70	▲70	▲38	▲67	新規受付停止による会員減少で赤字。
八十二信用保証	100.0%	946	635	1,324	884	新規取扱件数増加により増収。与信コスト減少により増益。
八十二キャピタル	41.0%	187	141	207	155	配当収入とファンド管理報酬増加により増収増益。
八十二キャリアリンク （旧）八十二スタッフサービス	100.0%	20	13	▲16	▲10	派遣収入減少により減収。事業領域拡大にともなう人件費増加等により赤字。
やまびこ債権回収	99.0%	24	16	5	▲2	債権回収増加で増収となるも、事業領域拡大にむけた人員増強による人件費等増加により赤字。
八十二オートリース	100.0%	556	369	589	387	債権残高増加・利回り改善により増収増益。
八十二アセットマネジメント	100.0%	28	19	4	4	運営ファンドからの報酬減少により減収減益。
八十二インベストメント	100.0%	10	6	8	5	管理報酬横ばいも、費用増加により減益。
八十二Link Nagano	100.0%	▲14	▲31	32	26	商社事業・電力事業の増収により黒字化。

2026年度 業績予想　前提：政策金利　年度末時点「1.25%」

2026年11月6日：上方修正

◆ 連結　（億円）

	2025/9	2026/3	2026/9	<予想> 2027/3	前期比
経常利益	419	815	604	最高益見込み **1,190**	375
親会社株主に帰属する当期（中間）純利益	297	645	400	最高益見込み **800**	155

◆ 単体　（億円）　2026年1月1日に長野銀行と合併しました

		2025/9	2026/3	2026/9	<予想> 2027/3	前期比
業務粗利益（A）		626	1,100	632	**1,343**	243
	資金利益	550	1,114	669	1,386	272
	役務取引等利益	74	127	71	137	10
	その他業務利益	▲0	▲146	▲111	▲185	▲ 39
	国債等債券損益（B）	▲7	▲163	▲122	▲215	▲ 52
経費（C）		304	718	349	699	▲ 19
	うち人件費	160	372	195	380	8
	うち物件費	120	303	122	261	▲ 42
実質業務純益（A-C）		322	381	282	**643**	262
コア業務純益（A-B-C）		329	545	405	**859**	314
一般貸倒引当金繰入額（D）		15	－	13	45	45
業務純益（A-C-D）		307	381	269	598	217
臨時損益	株式等損益（E）	84	352	271	487	135
	金銭の信託運用損益（F）	▲1	▲3	2	2	5
	不良債権処理額	▲9	5	4	14	9
経常利益		390	758	572	最高益見込み **1,140**	382
当期（中間）純利益		278	665	381	最高益見込み **770**	105
有価証券関係損益（B+E+F）		75	184	151	274	90
与信関係費用		5	▲3	17	60	63

期末配当予想の修正（増配）について

（11月６日公表）通期業績予想修正に基づき、第１次中期経営計画における株主還元方針（連結配当性向40%以上を目安）を踏まえ、
期末配当予想を１株あたり35円から42円へ修正いたします。
これにより、**2027年３月期の年間配当金は72円、連結配当性向は40.8%となる見込みです。**

株主還元方針（第１次中期経営計画（2026年度～2028年度））

連結配当性向40%以上を目安とし、配当金の維持または増加を目指します。
自己株式取得は市場環境などを考慮のうえ、機動的に実施します。

	2025/3	2026/3	(中間) 2026/9	<予想> 2027/3	
年間配当額	195億円	273億円	136億円	326億円	<見込み>
1株当たり配当額（年間）	42.0円	記念配当（５円）含む 60.0円	—	» 72.0円	６期連続 **増配**
中間期配当額	13.0円	20.0円	30.0円	30.0円	
自己株式取得額	205億円	100億円	59億円（９月末までの実績）	実施中 100億円	
株主還元額	400億円	373億円	195億円	426億円	
当期純利益（連結）	479億円	645億円	中間純利益 400億円	800億円	<見込み> ４期連続 **最高益**
配当性向（連結）	41.4%	42.4%	—	» 40.8%	
株主還元率（連結）	83.5%	57.8%	—	53.3%	

・本資料は情報提供を目的としたものであり、有価証券の売買を勧誘するものではありません。
・本資料には将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、
不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。
・本資料に記載された事項は予告なく修正されることがあります。

<ご照会先>
企画部（ＩＲ・広報室）
TEL：026-224-5512
E-mail： irtantou@bank.82group.jp